エコアクション21
認証番号 0001759

令和 05 年 04 月 01 日

エコアクション 21

令和３年度環境経営レポート

有限会社品田商会

対象期間：令和 3 年 10 月 1 日～令和 4 年 9 月 30 日

www.shinada-web.com

目次

第１章　　環境経営方針

第２章　　環境経営目標とその実績

第３章　　環境経営計画・環境経営計画の取組結果の評価並びに次年度の
　　環境経営目標および環境経営計画

第４章　　新規・継続の取組

第５章　　環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無

第６章　　組織の概要

第７章　　代表者による全体評価と見直し

第１章　環境経営方針

【　環　境　経　営　方　針　】

●環境理念

有限会社品田商会は、これからの循環型環境社会に対応するため、地球環境と調和した正しいリサイクルの推進と適切な廃棄処理を実施することで、人と車にやさしい自動車サービス業を目指します。

●活動方針

有限会社品田商会は、環境との共生、調和を最重要課題として認識し、又経営における課題とチャンスを踏まえ自ら責任を持ち全従業員あげて環境経営の継続的改善に努めます。このため以下の活動方針に取り組みます。

(1)　省資源・省エネルギー活動の推進

事業所内の整理・整頓・清潔・清掃に留意し、事業活動に於ける電力・紙・水道等の資源、石油等化石エネルギーの使用量の削減等環境負荷の改善に努めます。

(2)　エコドライブ等による CO2 削減の推進

停車時の無駄なアイドリングをはじめとするエコドライブによる環境負荷への低減を推進します。

(3)　一般廃棄物を削減する

事務所から出る廃棄物を最小限にする努力をし、分別処理を推進します。

(4)　上水使用量の削減をする

事務所内で使用する水量を削減します。

(5)　自動車リサイクル法の遵守

交換部品等の正しい廃棄物処理を実施するとともに、リサイクルパーツの推進に努めます。

(6)　グリーン購入の推進

製品購入の際はグリーン対象製品の購入に努めます。

(7)　化学物質使用量の使用量把握・管理

特定化学物質「PRTR 法」に基づいて排出量の把握及び適正管理に努めます。

(8)　環境に関する法律を遵守します。

(9)　先進対応車検車の販売比率を高める

旧平成 21 年 10 月 01 日

改定令和元年 10 月 01 日

有限会社　品田商会

代表取締役　品田庄一

配布先：ホームページ

第２章　環境経営目標とその実績

基準年度　整備センター　H26～H28 までの３年間平均（リサイクルパーツ使用量は H28 年度）

項目		基準値
二酸化炭素排出量（電力）	電力（kg-C02）	13, 892
一般廃棄物の削減（総量）	総量（kg）	2, 376
リサイクルパーツ使用（C02 削減）	総量（Kg-C02）	1, 158
上水道使用量の削減（総量）	総量（m^3）	541

1. 令和１年度～令和４年度の環境経営目標と実績　整備センター

項目			R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
二酸化炭素排出量	(電力)Kg-C02	目標	14, 762	13, 753	13, 753	13, 753
		実績	12, 442	12, 866	13, 379	
一般廃棄物量	(総量)kg	目標	2, 352	2, 352	2, 352	2, 352
		実績	1, 692	1, 537	1, 256	
リサイクルパーツの使用	(総量)kg-C02	目標	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000
		実績	2, 724	2, 760	2, 186	
上水道使用量	(総量)m^3	目標	536	536	536	536
		実績	419	442	427	

※購入電力の二酸化炭素係数は平成 30 年度の東北電力株式会社の調整後排出係数 0. 518kg-C02/kwh を使用。

※H26 年度以降の二酸化炭素排出削減は項目を絞り実施する。

※産業廃棄物は、仕事の性質上削減は困難なため、適正管理を行う。

※PRTR 法制度対象化学物質（化学物質）の使用は無いため、目標設定は行いません。

※H29 年度よりリサイクルパーツの数値目標はグリーンポイントクラブと早稲田大学の C02 換算値を使用し、毎年 1, 000kg-CO_2 以上の削減目標に変更する。

第２章　環境経営目標とその実績

基準年度　原町営業所　二酸化炭素の排出量は H30～R1 までの 2 年間平均
一般廃棄物および上水道使用量は H26～H28 までの 3 年間平均

項目		基準値
二酸化炭素排出量（自動車燃料）	燃料（kg-C02）	3, 993
一般廃棄物の削減（総量）	総量（kg）	207
上水道使用量の削減（総量）	総量（m^3）	78

2. 令和１年度～令和４年度の環境経営目標と実績　原町営業所

項目			R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
二酸化炭素排出量	(自動車燃料)Kg-C02	目標	3, 466	3, 953	3, 953	5, 847
		実績	4, 160	4, 387	5, 906	
一般廃棄物量	(総量)kg	目標	205	205	205	205
		実績	145	165	206	
上水道使用量	(総量)m^3	目標	77	77	77	77
		実績	71	72	77	

※H26 年度以降の二酸化炭素排出削減は項目を絞り実施する。
※R2 年度二酸化炭素排出量目標は H30～R1 年度の二酸化炭素排出量平均値を基準値とする。
※R4 年度二酸化炭素排出量目標は R3 年度の二酸化炭素排出量を基準値とする。

第２章　環境経営目標とその実績

基準年度　ENEOS 松波給油所　二酸化炭素の排出量は H30～R1 までの 2 年間平均
一般廃棄物は H26～H28 までの 3 年間平均

項目		基準値
二酸化炭素排出量（自動車燃料）	燃料（kg-C02）	9, 048
一般廃棄物の削減（総量）	総量（kg）	508

3. 令和１年度～令和４年度の環境経営目標と実績　ENEOS 松波給油所

項目			R1 度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
二酸化炭素排出量	(自動車燃料)Kg-C02	目標	8, 435	9, 003	9, 003	9, 003
		実績	9, 491	8, 291	7, 418	
一般廃棄物量	(総量)kg	目標	503	503	503	503
		実績	473	490	454	

※産業廃棄物は、仕事の性質上削減は困難なため、適正管理を行う。
※PRTR 法制度対象化学物質はガソリン販売のみのため、目標設定は行いません。
※R2 年度二酸化炭素排出量目標は H30～R1 年度の二酸化炭素排出量平均値を基準値とする。

4. 全社全項目の二酸化炭素排出量の実績

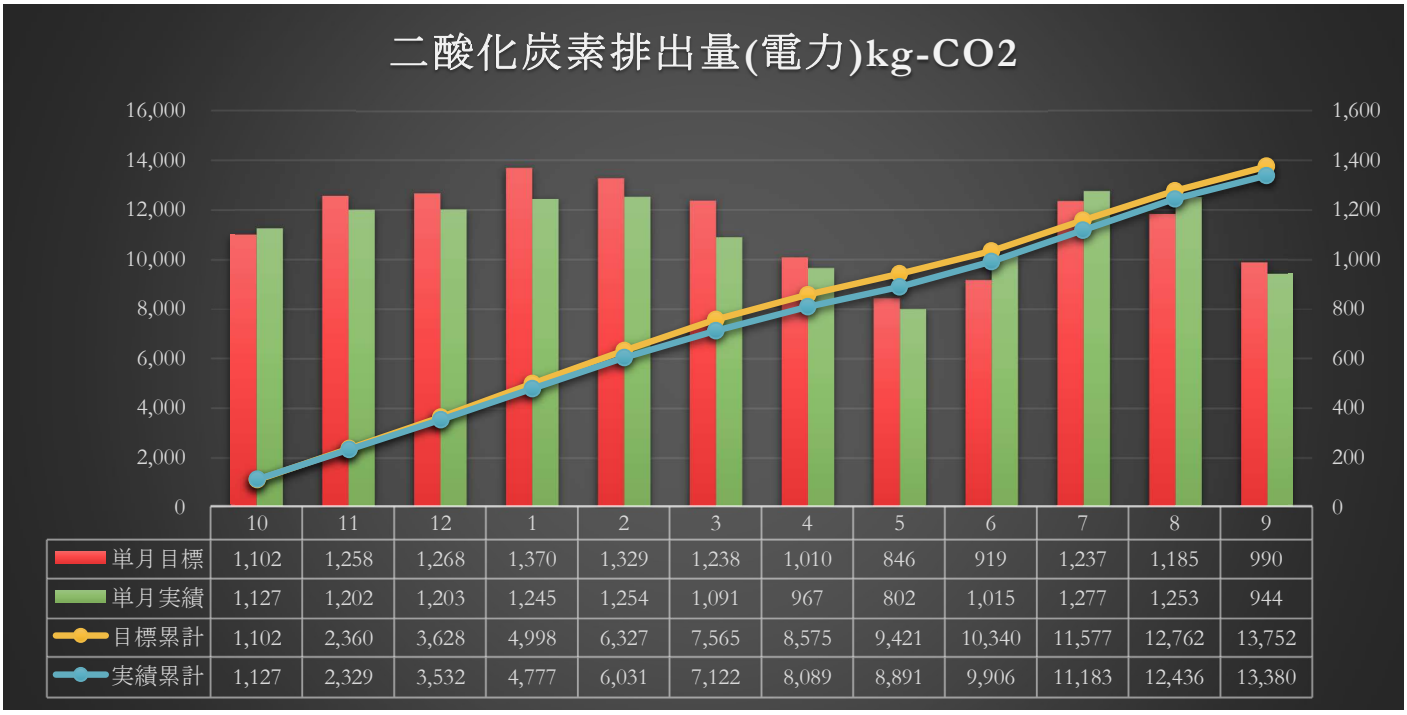
項目	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
二酸化炭素排出量（総量 kg-C02）	**110, 511**	**113, 437**	**103, 236**	**106, 713**

項目	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度
二酸化炭素排出量（総量 kg-C02）	**106, 007**	**101, 834**	**97, 376**	**103, 380**

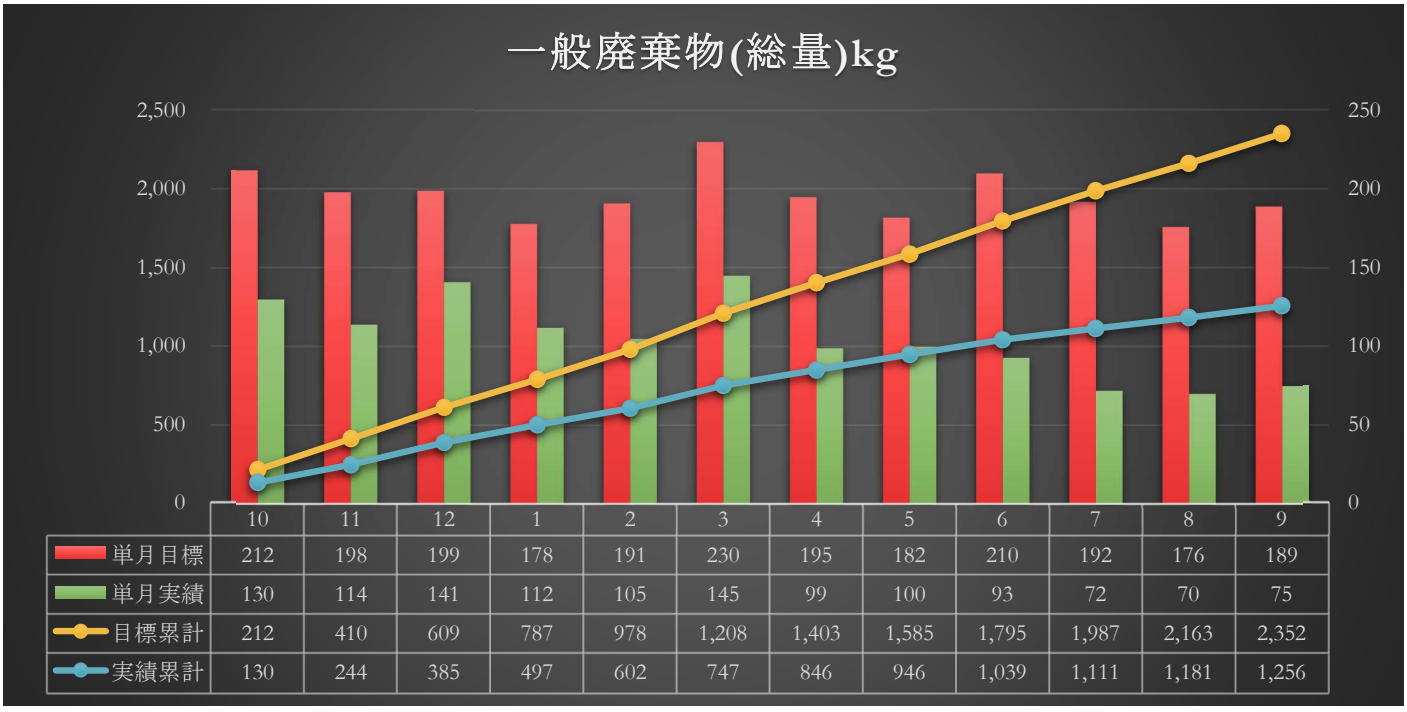
項目	R3 年度	R4 年度	2023 年度	2024 年度
二酸化炭素排出量（総量 kg-C02）	**102, 856**			

第２章　環境経営目標とその実績

整備センター



	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
単月目標	1,102	1,258	1,268	1,370	1,329	1,238	1,010	846	919	1,237	1,185	990
単月実績	1,127	1,202	1,203	1,245	1,254	1,091	967	802	1,015	1,277	1,253	944
目標累計	1,102	2,360	3,628	4,998	6,327	7,565	8,575	9,421	10,340	11,577	12,762	13,752
実績累計	1,127	2,329	3,532	4,777	6,031	7,122	8,089	8,891	9,906	11,183	12,436	13,380

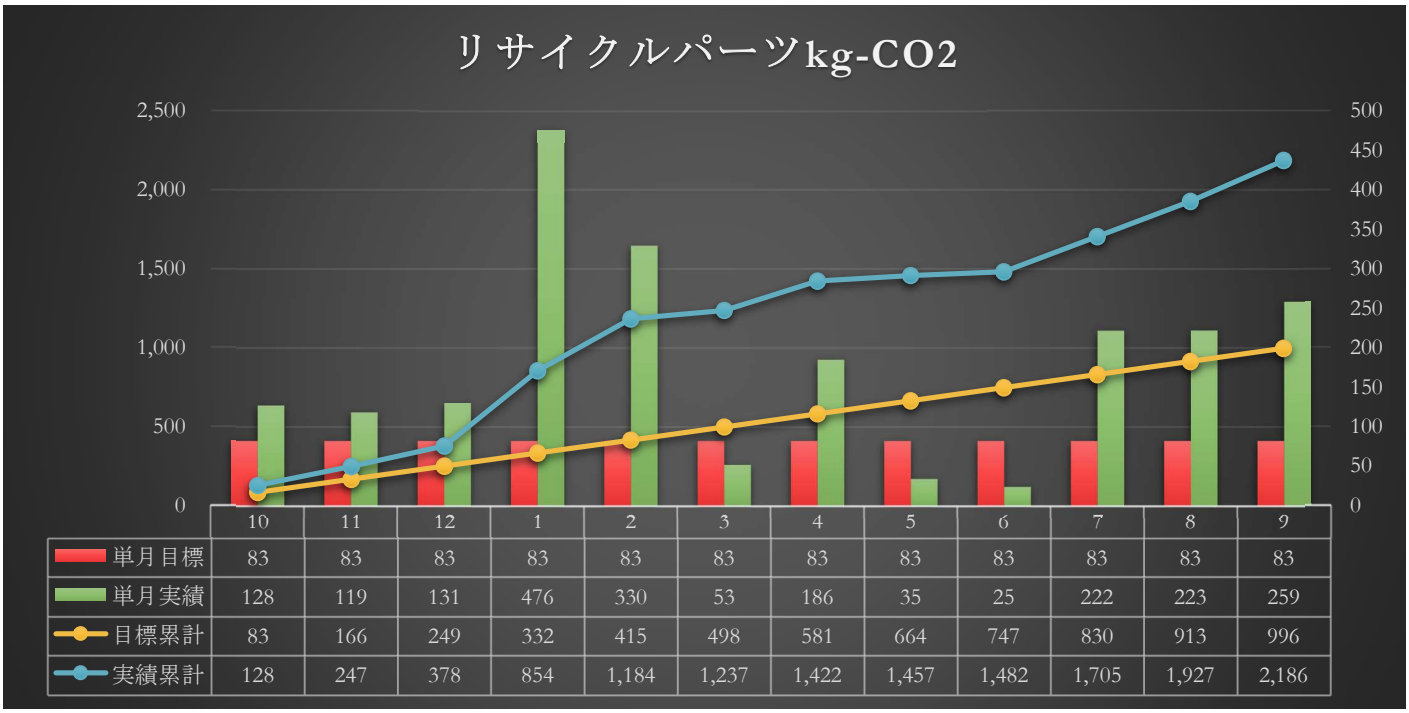


	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
単月目標	212	198	199	178	191	230	195	182	210	192	176	189
単月実績	130	114	141	112	105	145	99	100	93	72	70	75
目標累計	212	410	609	787	978	1,208	1,403	1,585	1,795	1,987	2,163	2,352
実績累計	130	244	385	497	602	747	846	946	1,039	1,111	1,181	1,256

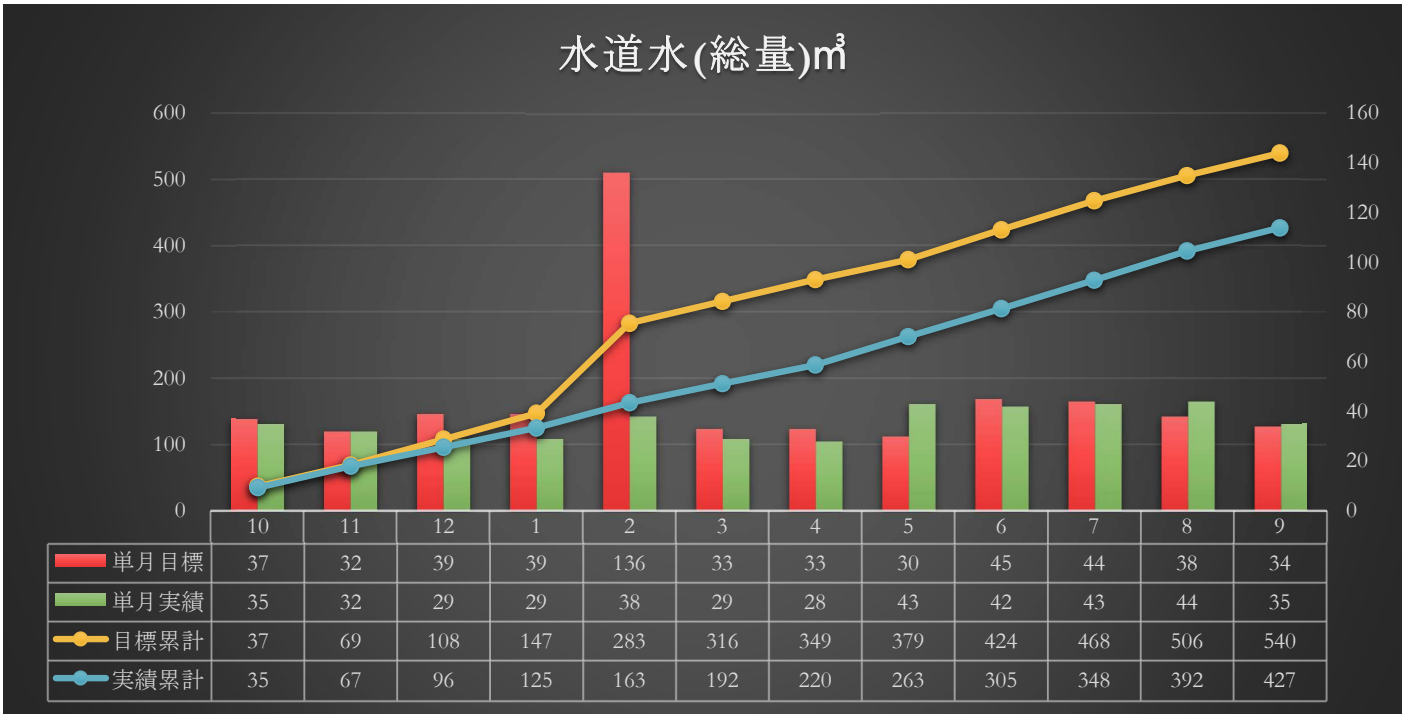
※上記グラフ左側メモリが累計、右側メモリが単月になります。

第２章　環境経営目標とその実績

整備センター



	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
単月目標	83	83	83	83	83	83	83	83	83	83	83	83
単月実績	128	119	131	476	330	53	186	35	25	222	223	259
目標累計	83	166	249	332	415	498	581	664	747	830	913	996
実績累計	128	247	378	854	1,184	1,237	1,422	1,457	1,482	1,705	1,927	2,186

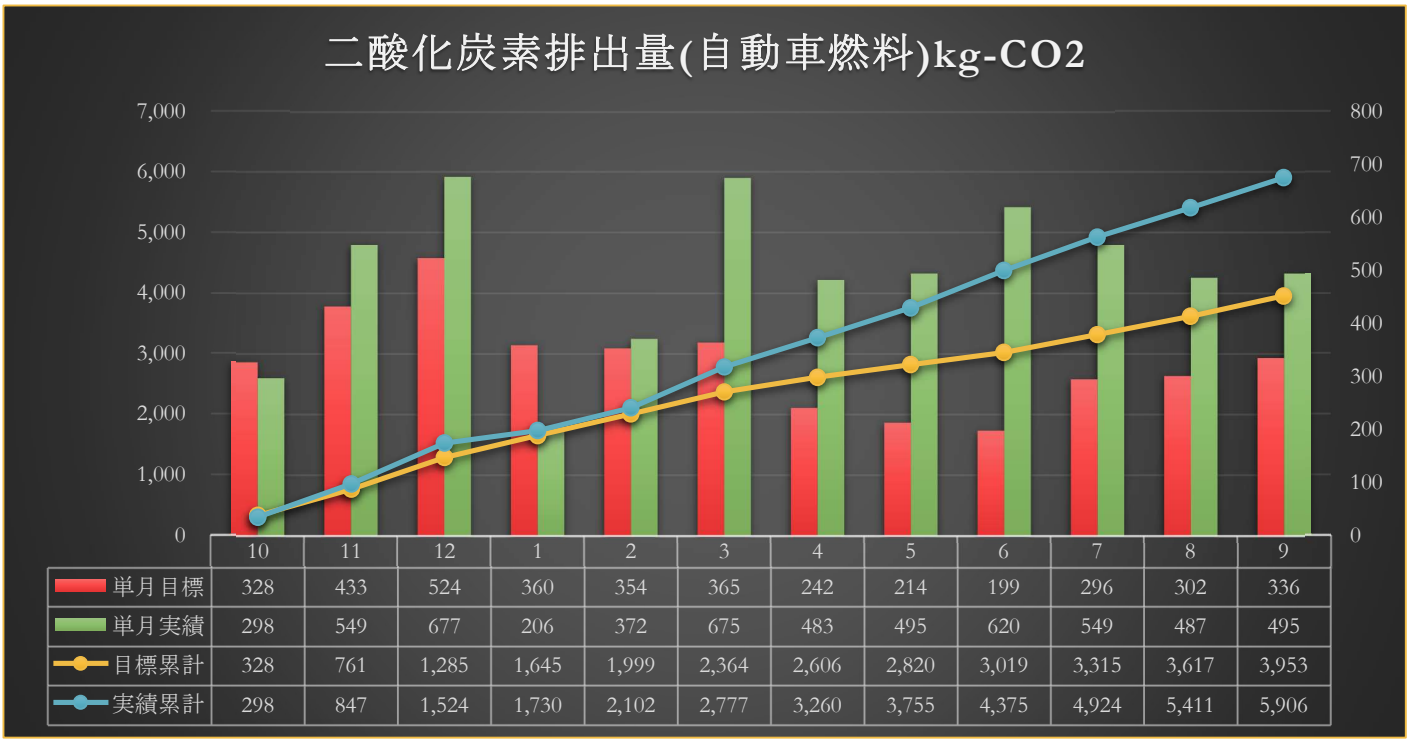


	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
単月目標	37	32	39	39	136	33	33	30	45	44	38	34
単月実績	35	32	29	29	38	29	28	43	42	43	44	35
目標累計	37	69	108	147	283	316	349	379	424	468	506	540
実績累計	35	67	96	125	163	192	220	263	305	348	392	427

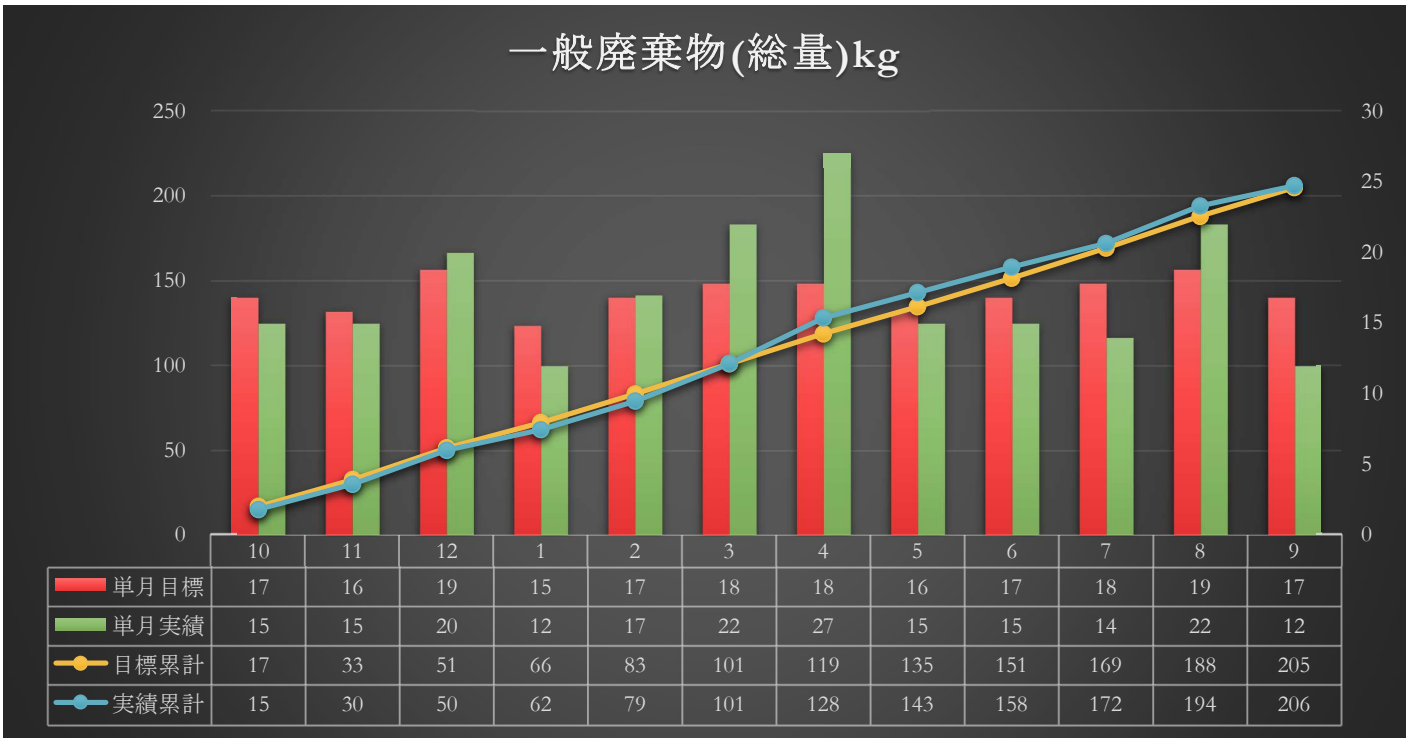
※上記グラフ左側メモリが累計、右側メモリが単月になります。

第２章　環境経営目標とその実績

原町営業所



	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
単月目標	328	433	524	360	354	365	242	214	199	296	302	336
単月実績	298	549	677	206	372	675	483	495	620	549	487	495
目標累計	328	761	1,285	1,645	1,999	2,364	2,606	2,820	3,019	3,315	3,617	3,953
実績累計	298	847	1,524	1,730	2,102	2,777	3,260	3,755	4,375	4,924	5,411	5,906

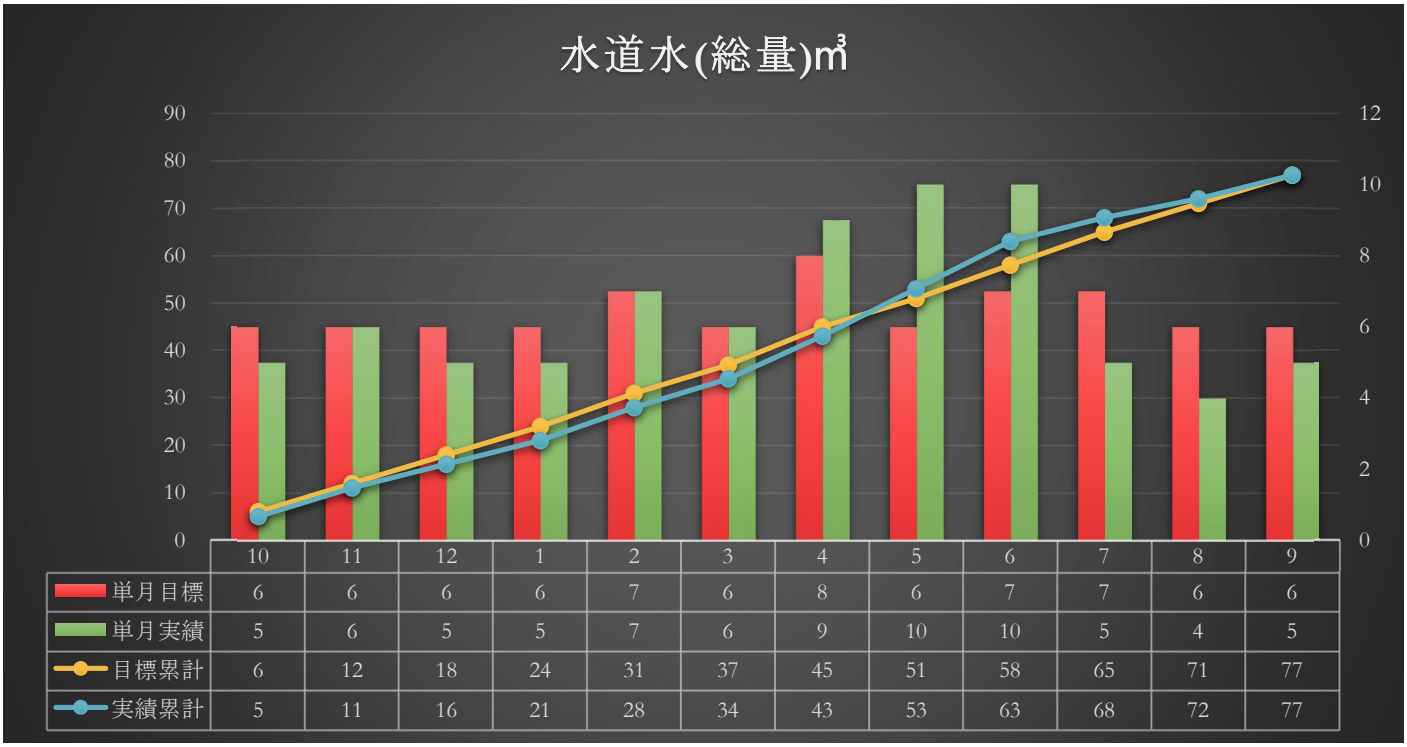


	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
単月目標	17	16	19	15	17	18	18	16	17	18	19	17
単月実績	15	15	20	12	17	22	27	15	15	14	22	12
目標累計	17	33	51	66	83	101	119	135	151	169	188	205
実績累計	15	30	50	62	79	101	128	143	158	172	194	206

※上記グラフ左側メモリが累計、右側メモリが単月になります。

第２章　環境経営目標とその実績

原町営業所

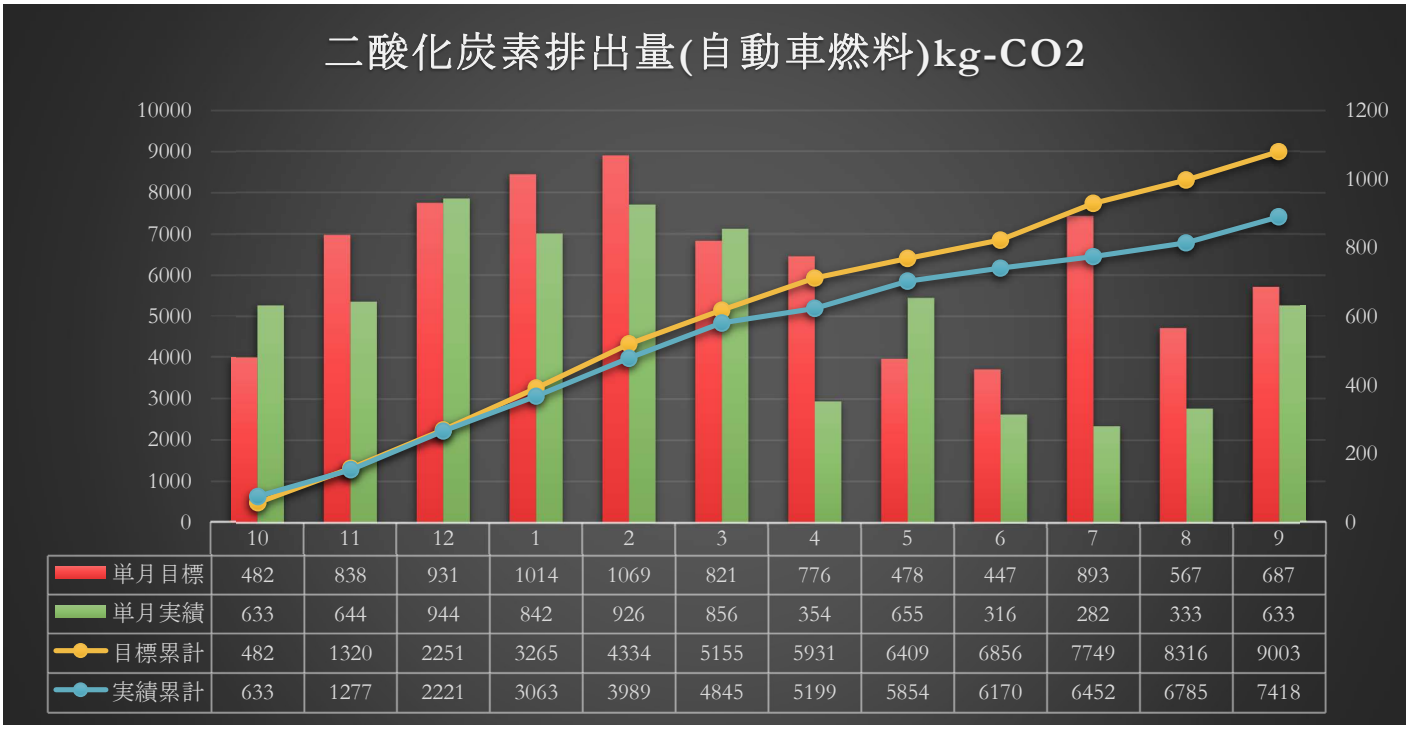


	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
単月目標	6	6	6	6	7	6	8	6	7	7	6	6
単月実績	5	6	5	5	7	6	9	10	10	5	4	5
目標累計	6	12	18	24	31	37	45	51	58	65	71	77
実績累計	5	11	16	21	28	34	43	53	63	68	72	77

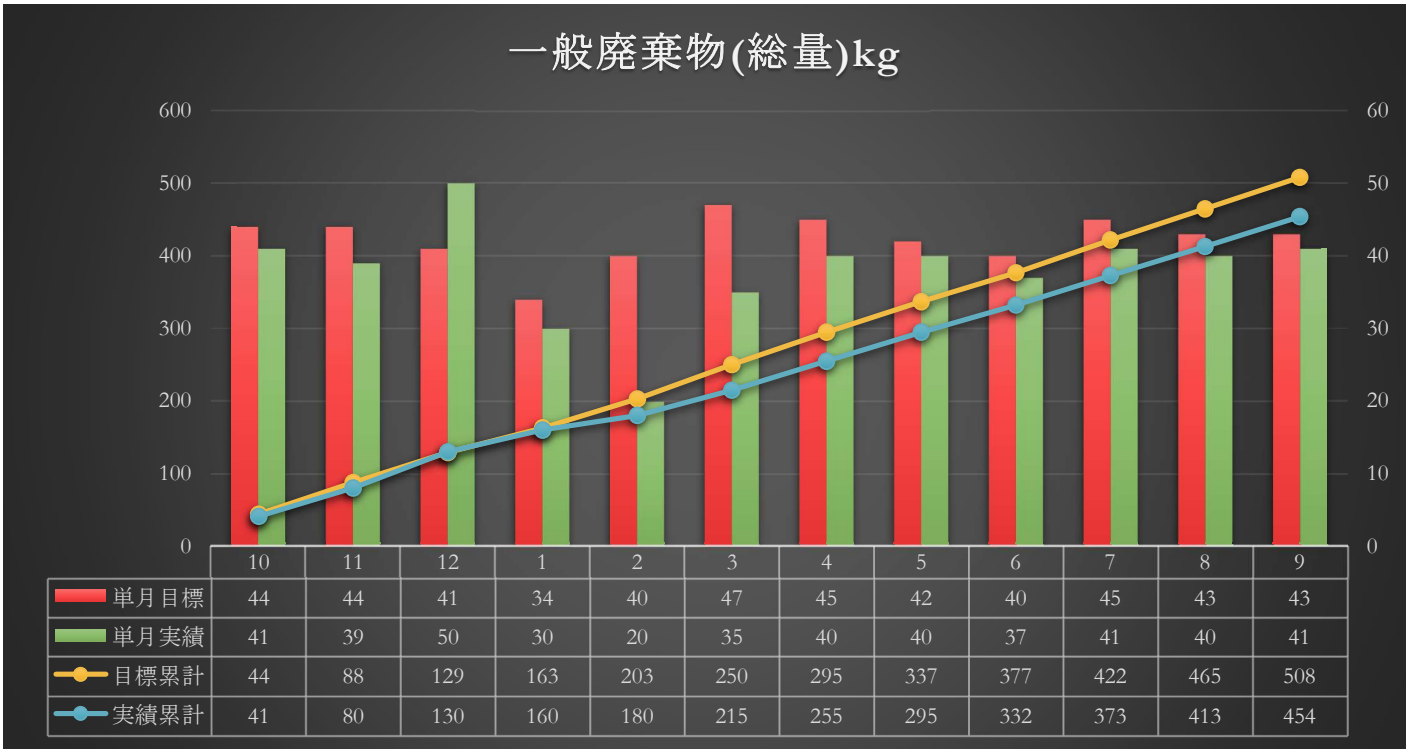
※上記グラフ左側メモリが累計、右側メモリが単月になります。

第２章　環境経営目標とその実績

ENEOS 松波給油所



	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
単月目標	482	838	931	1014	1069	821	776	478	447	893	567	687
単月実績	633	644	944	842	926	856	354	655	316	282	333	633
目標累計	482	1320	2251	3265	4334	5155	5931	6409	6856	7749	8316	9003
実績累計	633	1277	2221	3063	3989	4845	5199	5854	6170	6452	6785	7418



	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
単月目標	44	44	41	34	40	47	45	42	40	45	43	43
単月実績	41	39	50	30	20	35	40	40	37	41	40	41
目標累計	44	88	129	163	203	250	295	337	377	422	465	508
実績累計	41	80	130	160	180	215	255	295	332	373	413	454

※上記グラフ左側メモリが累計、右側メモリが単月になります。

第２章　環境経営目標とその実績(考察)

共通項目

1) 当年 10 月から翌年 9 月です
2) 平成 29 年度より平成 26 年度から平成 28 年の 3 年間の平均値を基に 3 カ年計画とする。
3) 令和 2 年度目標より購入電力の二酸化炭素係数は平成 30 年度の東北電力（0.518）および JXTG エネルギー㈱（0.459）の排出係数を使用する。
4) R3 年度目標は引き続き H26～H28 までの３年間の平均値を基準とし 3 ヶ年計画とする。
5) 原町営業所および ENEOS 松波給油所の二酸化炭素排出量（自動車燃料）の目標基準値は H30～R1 の２年間の平均値を基準値とし 2 ヶ年計画とする。

整備センター

1) 二酸化炭素排出量（電力）
   目標達成率 **103%**、柏崎市の ECO2 プロジェクトポイントを活用し省エネ機器の導入およびこまめな節電を行い目標を達成することができた。
2) 一般廃棄物の削減
   目標達成率 **182%**、昨年に引き続きペーパーレスへの取り組みおよび分別、裏紙の再利用の徹底により目標を達成できた。
3) 上水使用量の削減
   目標達成率 **126%**、水の使用時の節水意識を持ち目標を達成できた。
4) リサイクルパーツは早稲田大学環境総合研究センターとグリーンポイントクラブの CO2 換算値を基に 1,000kg-CO2 以上の削減目標とし本年度は **219%増**であった。

原町営業所

1) 二酸化炭素排出量の削減（自動車燃料）
   目標達成率 **67%**、従業員が 2 人増えそれにともない営業車も増車したことにより、目標達成ができなかった。来年度は新たに増員したことも踏まえて目標の変更を行い達成できるように取り組む。
2) 一般廃棄物の削減
   目標達成率 **99%**、従業員も増え生活ごみも増えたことが要因と考えられるが目標達成に関しては、一歩及ばず達成することができなかった。ペーパーレス化の推進および普段の生活ごみに関しても減らすようにする。
3) 上水使用量の削減
   目標達成率 **100%**、現状を維持しつつ、目標を達成できた。現状維持ができるように努めたい。

ENEOS 松波給油所

1) 二酸化炭素排出量の削減（自動車燃料）
   目標達成率 **121%**、昨年に目標設定を変更して、1 年取り組んできたが、目標を達成することができた。
2) 一般廃棄物の削減
   目標達成率 **111%**、目標はクリアすることができた。

第３章　環境経営計画・取組結果とその評価並びに次年度の環境経営目標および環境経営計画

1. 整備センター

No	環境目標	環境経営計画の内容	取組結果の評価	次年度の環境経営計画
1	二酸化炭素排出量の削減(電力)	節電対策（LED 化）も視野に入れながら削減に努める。	柏崎市の ECO2 プロジェクトポイントを活用しながら、省エネ設備導入などができた。	節電対策に準じながらこまめに行うよう心掛ける。
2	一般廃棄物の削減(総量)	ペーパー類の再利用 ペーパーレス化推進 分別の徹底	コピーなどを減らしながら裏紙の再利用および分別の徹底を行った。	ペーパー類の再利用 ペーパーレス化推進 分別の徹底
3	リサイクルパーツの使用（金額総量）	お客様への積極的推進・案内の室内掲示	待合室などに、案内文を置きリサイクル部品使用の推進を行った。	お客様への積極的推進・案内の室内掲示
4	上水道使用量の削減	現状を維持しつつ不要な使用を控え、節水に努める。	使用目的により、より効率的な使用方法を考えながら取り組めた。	現状を維持しつつ不要な使用を控え、節水に努める。

2. 原町営業所

No	環境目標	環境経営計画の内容	取組結果の評価	次年度の環境経営計画
1	二酸化炭素排出量の削減 (自動車燃料)	エコドライブの推進	エコドライブの実践	エコドライブの推進
2	一般廃棄物の削減(総量)	ペーパー類の再利用 ペーパーレス化 分別の徹底	従業員も増え生活ごみが増えたと思われる。	ペーパー類の再利用 ペーパーレス化 分別の徹底
3	上水道使用量の削減	節水の徹底。	現状を鑑みて節水に努められた。	節水の徹底

3. ENEOS 松波給油所

No	環境目標	環境経営計画の内容	取組結果の評価	次年度の環境経営計画
1	二酸化炭素排出量の削減 (自動車燃料)	配達ルートの効率化およびエコドライブに努める。	一人一人が環境意識をきちんと持ち計画的に行動できた。	エコドライブに努める。
2	一般廃棄物の削減(総量)	分別の徹底・整理整頓に努める。 ペーパーレス(電子)化の推進	記録を出来る範囲で電子化を行った。	分別の徹底・整理整頓に努める。 ペーパーレス(電子)化の推進

※次年度の環境経営目標は第 2 章に記載の通りで、環境経営計画は上表のとおり

第４章　新規・継続の取組

1. 北陸信越運輸局長からの表彰受賞『地球にやさしい自動車関連事業所』
2. 東京商工会議所主催の環境社会検定試験（ECO 検定）に現在 18 名が合格
3. 新潟県エコ事業所認定制度登録事業所
4. EV・phv 用、倍速充電器の設置
5. EV 自動車の社用車導入(EV２台　ｐｈｖ１台)
6. EV 自動車の使用
7. 一部照明(蛍光灯)を LED 化 95%達成
8. 環境車検の導入、燃費向上整備の導入
9. 柏崎 ECO2 プロジェクトに参加
10. 原町営業所の紫外線断熱フィルム施工
11. ENEOS 松波給油所へのソーラーパネル設置
12. 地域奉仕活動の実施

第５章　環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無

1.　環境関連法規の遵守状況を自らチェックし、違反はありません。

No	法規等
1)	水質汚濁防止法
2)	騒音規制法
3)	振動規制法
4)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
5)	消防法・柏崎市火災予防条例
6)	使用済み自動車の再資源化等に関する法律
7)	道路運送車両法
8)	下水道法
9)	PRTR 法
10)	グリーン購入法
11)	フロン排出抑制法
12)	新潟県産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例
13)	新潟県生活環境の保全等に関する条例

2.　関係当局からの違反の指摘は、過去３年間ありません。

3.　訴訟も、過去３年間ありません。

第６章　組織の概要

『　認証登録範囲　：　全組織・全活動　』

No	項目	内容	
1	事業所および代表者氏名	有限会社品田商会　本社・整備センター　代表取締役　品田庄一	
2	所在地	〒945-0011　新潟県柏崎市松波４丁目１番63号	
3	環境管理責任者氏名および担当者連絡先	環境管理責任者	代表取締役　品田庄一
		担当者	野田　和孝
		連絡先	TEL　0257-23-2227
			FAX　0257-23-2247
4	事業内容	自動車販売整備業、カーリース&レンタカー業、損保代理店業	
5	許認可	新潟陸運局支局長　指定整備事業者番号　5507	
6	事業規模	従業員	19名　（令和４年10月01日現在）
		土地面積	2,277㎡　（平成28年10月01日現在）
		延床面積	818.45㎡　（平成28年10月01日現在）
7	事業所名	原町営業所(ユーロヴァーン)	
8	所在地	〒945-0023　新潟県柏崎市原町６番48号	
9	連絡先	連絡先	TEL　0257-21-3335
			FAX　0257-22-0335
10	事業内容	自動車販売、カーリース&レンタカー業、損保代理店業	
11	事業の規模	従業員	6名　（令和４年10月01日現在）
		土地面積	1,450.09㎡　（平成28年10月01日現在）
		延床面積	149.93㎡　（平成28年10月01日現在）
12	事業所名	ENEOS松波給油所(サービスステーション)	
13	所在地	〒945-0011　新潟県柏崎市松波２丁目２番13号	
14	連絡先	連絡先	TEL　0257-23-1324
			FAX　0257-23-3839
15	事業内容	石油製品小売販売業	
16	事業規模	従業員	7名　（令和４年10月01日現在）
		土地面積	1,423.39㎡　（平成28年10月01日現在）
		延床面積	210.25㎡　（平成28年10月01日現在）
17	許認可	危険物取扱所許可番号　柏崎市長　第　143　号	

第６章組織の概要

『　認証登録範囲　：　全組織・全活動　』

＜ EA21経営組織図 ＞

配布先：整備センター・原町営業所・ENEOS松波給油所

令和3年10月1日

承認	作成
環境管理責任者	EA事務局
品田　庄一	野田　和孝

	役割・責任・権限
代表者：品田　庄一	1.環境方針の制定（10月） 2.環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 3.環境システムの全体見直し実施（9月） 4.社内情報の外部公開可否決定 5.経営における課題とチャンスの明確化 6.実施体制の構築
環境管理責任者：品田　庄一 （兼任）	1.環境経営システムの確立、実施および維持するための処置 2.環境経営システムの実施報告（毎月）、評価・是正・予防処置を指示（3ヶ月毎） 3.推進機関であるEA21事務局の運営 4.環境経営システムの教育・訓練計画・実施責任者 5.外部環境情報の受付、対応（受付時） 6.緊急事態の対応テスト（2年毎・6月）
環境事務局：野田　和孝	1.環境への負荷の自己チェック（10月） 2.環境法規の改正確認・順守評価（9月） 3.環境活動計画及び教育の策定（9月） 4.環境組織図の更新（変更時） 5.環境活動レポートの作成、公表（10月） 6.環境文章・環境記録の保管（その都度）
整備部門：植木　健一	※リサイクル品の活用及び廃棄物の削減・分別処理 ①リサイクル部品の積極的使用 ②ゴミ分別処理の徹底 ③整理・整頓・清掃・清潔の徹底 ④エコドライブの推進 ⑤バッテリー・バンパー・タイヤ・オイル等リサイクルに流通させる
業務部門：福口　幸喜	※省資源・省エネルギーの推進 ※下取車の適正な処理 ①節水・節電・紙使用量の削減 ②グリーン購入比率UPの推進 ③ゴミ分別処理の徹底 ④整理・整頓・清掃・清潔の徹底
原町営業所：佐藤　正充	①エコドライブの推進 ②ゴミ分別処理の徹底 ③整理・整頓・清掃・清潔の徹底
ENEOS松波給油所 浦澤　房夫	①エコドライブの推進 ②ゴミ分別処理の徹底 ③廃棄物の削減・分別処理 ④整理・整頓・清掃・清潔の徹底
・当社の管理責任者の下に具体的取組事項を推進する。 ・具体的取組の推進状況の調整は、環境管理責任者と話し合い会合でまとめる。 ・環境責任者は、エコアクション21の要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実施、管理する。 ・各部の担当者は、自らの組織の中でどのような役割を担っているのかを確認し、環境管理責任者のもとに行動する。	

第７章　代表者による全体評価と見直し結果

全体的には概ね良好に推移したと思います。原町営業所については営業要員２名の増加があり、それに伴う社用車の燃料増加等により目標がクリア出来ませんでしたが今後は目標の再設定で新たに挑戦いたします。
社用車の旧 EV を新車の EV に入替ましたので徐々にその効果が表れると思いますが今後の入れ替えについては最大限の低燃費車を選定するよう努力いたします。
今後も環境に対する社員の意識の醸成とエコ検定合格者の増大を目指し全社員で努力し名実共に地域社会とともに歩む環境企業を目指します。

見直し結果は以下の通りです。

環境経営方針	見直しの必要性はない。
環境経営目標	原町営業所の自動車燃料削減目標の変更
環境経営計画	見直しの必要性はない。
実施体制	〃